

報告ダイジェスト

- ・ 10/17 (日) 第7回たまり場《はなれ》 (報告1)
- ・ GH基礎研修報告 (報告2)
- ・ ジャックス置き菓子実施COの食卓 (報告3)

報告Ⅰ 第7回たまり場《はなれ》

● 定着しつつある《はなれ》スタイル

10月17日(日)、長い夏ようやく終わりを告げる秋雨の中、第7回「たまり場《はなれ》」を開催しました。少人数で複数のコースに分かれ、同じ時間、違う場所で一斉に活動をする《はなれ》のスタイルも定着しつつ、三密を避け、感染症対策をしっかりと行なった上で活動をしました。

● 秋をテーマにした4つのコース

今回行なわれたコースは4つ。

- ・ ハロウィンパーティ!
- ・ スポーツの秋～東京五輪2020名残～
- ・ 芸術の秋～素敵な写真を撮ろう～
- ・ 芸術の秋～美術館を訪れよう～

ハロウィンパーティでは、ジャックオーランタン(※)作り(カラーボールをミニカボチャに見立てて)や仮装を行ない、ハロウィンの雰囲気たっぷりにパーティを楽しみました。

スポーツの秋～東京五輪2020名残～では、新国立競技場を散策し、五輪モニュメントの傍らに立つと、この夏の数々の名場面が脳裏に蘇りました。また、皆で「だるまさんがころんだ」を行ない体を動かしました。



【渋谷公園通りギャラリーにて鑑賞】

芸術の秋にまつわる企画は2種。一つ目は、素敵な写真を撮ろう編です。あいにく雨天のため屋内活動に変更し、東京ジャーミイ・ディヤナト(トルコ文化センター)を訪れました。美しく荘厳なモスクに魅せられ、遠い異国の地に想いを馳せ、鮮やかに映える写真を撮ることができました。

二つ目は、美術館を訪れよう編。渋谷公園通りギャラリーを訪れ、ギャラリートーク形式で、参加者それぞれの視点・感性で作品を鑑賞しました。

● 変化する状況の中で…

人それぞれ、取り巻く環境や状況は刻々と変化して行きます。そのような中でも、たまり場が「ここに来るとホッとする」と思えるような、“誰もが還れる”そんな場所でありたいと願っています。

(たまり場ぱれっと 仲井香織)

※ジャックオーランタン⇒10月末のハロウィンで飾られるかぼちゃの形をしたランタン

報告2 グループホーム基礎研修報告



9月に行なわれたグループホーム従事者基礎研修に参加しました!

●研修参加へのきっかけ

私は今まで入所施設での仕事しか経験がなかったので、改めてグループホームとはどういう場所なのか、グループホームの役割とは何かを勉強したいと思ったからです。

●研修内容

講義Ⅰ グループホームの役割

講義Ⅱ 障がい理解

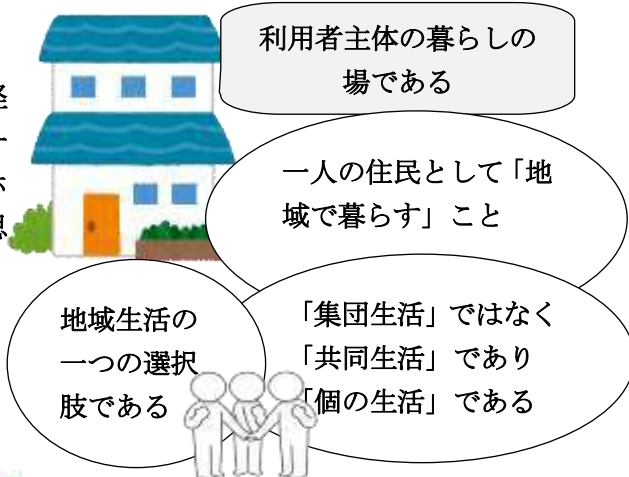
講義Ⅲ 権利擁護

☆まずは地域福祉の歴史について

・昭和 20~40年代は障がいのある方は施設入所や病院での生活を余儀なくされ、訓練主義的要素を重視された障がい否定や排除のような時代でした。

・昭和 50年代になり『障害者の権利宣言』が国連総会決議において採択されました。この宣言を機に世界的に障がいの者の権利保護や社会参加に向けた施策の整備が加速しました。昭和60年代以降になると『本人主体・自己決定』の考えが主体となり、ノーマライゼーションという言葉が広く知られ始めるようになりました。厚生労働省が提唱しているノーマライゼーションとは「障がいのある人が障がいのない人と同等に生活し、ともに生きいきと活動できる社会を目指す」という理念です。日本では国連総会が1981年に宣言した「国際障害者年」をきっかけにノーマライゼーションの考え方が意識されはじめました。

☆グループホームの暮らしとは



☆支援者が気を付けること

- ・障がいを理解する
- ・入居者の方を抱え込まない
- ・グループホームを密にしない

※支援者の思いを押し付けない・否定しないことが大切!!

●研修に参加しての感想

地域福祉の法律が整ってきたのが割と最近であることや、入居者の方にとってグループホームでの生活が全てではなく、家族や友人、区市町村、相談支援事業所、日中活動先など様々な機関が連携して生活が成り立っているという大切なことを学ぶことができました。

支援者として地域の方々と関わりを意識しつつ入居者の方の自己決定を保証する環境を整えられるようにしていきたいと思いました。

(えびす・ぱれっとホーム 香取麻子)

報告③ 株式会社ジャックス様置き菓子トライアル&coの食卓様買取販売

コロナ禍による定期的な販売会の中
止が続く中、繋がりのある企業・団体
のご協力のもと、新たに始めた取り組みを
ご紹介します。

●置き菓子のトライアル

置き菓子販売はオフィス等の一角の
スペースをお借りして集金箱を設置し、
無人販売をする試みで、100円・200円・
300円など小分けパックにして陳列し、
食べたい時にいつでもさっと買えるよ
うに設定しました。スタッフと通所員が
商品の補充と代金の回収に伺うシステ
ムになっており、今回この企画のトライ
アル第一弾として株式会社ジャックス
様(以下ジャックス様)にご協力して
いただく運びになりました。社内の休憩ス
ペースの入り口付近にて設置したとこ
ろ、納品初日の夕方には商品の棚が寂
しくなる程ほとんど売り切れ、すぐに補
充に伺う程で、1週間のトライアルの売
り上げは計50,490円と大反響でした。

また、ジャックス様からのご提案でト
ライアル後のアンケートを実施して
いただいた結果、75名の社員様から様々
なご意見をいただきました。(以下、アン
ケートから抜粋したのものです)「おかし
屋ぱれっとさんのクッキーはいつもと
てもおいしいので、自信をもって人に
あげることができます」「家に持って
帰ると、家族が喜んで食べます」「
おいしいし幸せな気持ちになります」。

また、「商品のバリエーションをも
っと増やしてほしい」「低カロリー
や低糖質など、健康を意識した商品
もあると嬉しいです」という率直な
ご意見もいただきました。これを励
みにこれから商品開

発に励んでいきたいと思いを



【置き菓子販売の様子】

●渋谷区子育てネウボラ内買取販売

9月初めには渋谷区子育てネウボラ
「coしぶや」内にあるコミュニティーカ
フェ「coの食卓」様に納品する機会を
いただきました。coしぶやは今年の夏に
「出会う、集う、語る、つながる」「地
域みんなで子どもを育てる」をコンセ
プトに作られた妊娠・出産・子育て支
援施設です。木のぬくもりを感じる広
々としたカフェのカウンターに卵ア
レルギーの方も安心して食べられる
ポーロ類を中心に並べていただいた
ところ、お子さんや保護者の方々にと
ても好評で、お持ちした全ての商品
が完売したと報告をいただきました。
coの食卓様で購入したことをき
っかけにおかし屋ぱれっとの店
舗にもクッキーやケーキをお買
い求めにお客様がいらっしや
り新たな縁を結ぶことも
できました。

●繋がり大切さ

以前のようなペースで販売会が
開催できない中で、置き菓子の
トライアルや買取販売を快く引
き受けてくださる方々がある
ことはとても心強く、ありが
たいことだと改めて思いま
した。この場を借りて改めて
御礼申し上げます。これか
らメンバー職員一同力を合
わせて製造や販路開拓を頑
張っていこうと思いを

(おかし屋ぱれっと 松本亜沙子)